



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

国際会長主題 「言葉より行動を」
 アジア会長主題 「未来を始めよう、今すぐに」
 西日本区理事主題 「響きあい、ともに歩む」
 中部部長主題 「将来を見つめたワイズ活動！」を今やってみよう
 クラブ会長主題 「確実に進歩、楽しめるワイズ活動」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2015年5月号

—<今月の聖句>—

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

ヨハネによる福音書6章34節～40節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2015年5月例会他ご案内

◎第一例会

と き：5月30日（土）
 ところ：名古屋YMCA本館 5階
 時 間：13:30～15:00
 ドライバー：早川君
 卓 話：「三英傑と清洲越し」
 講 師：山田 和正 氏
 （名古屋歴史まちづくり市民推進員）
 講師プロフィール：現在、国立長寿医療研究センター、治験・臨床研究推進センター、開発・連携推進部のプロジェクトマネージャーとして勤務

卓話内容：「清洲越し」を題材に、日本人にとって清洲とは何か？この中で、この地域のキリスト教の歴史にも踏み込みます。

一般公開プログラムです。参加費無料でどなたでも参加いただけます。ご家族、お知り合いを誘ってご参加ください。（巻末のチラシ1をご覧ください。）

◎第二例会

と き：5月19日（火）
 ところ：南山YMCA
 時 間：19:00～

◎日和田ワークキャンプ支援

と き：5月3日（日）～4日（月）
 ところ：御岳・日和田キャンプ場
 内 容：清掃、修繕、名星舎清掃修繕等
 宿泊は名鉄ロジのコテージを予約

◎名古屋YMCA夢・希望フォーラム2015

と き：5月16日（土）
 と き：13:30～17:00
 ところ：南山ファミリーYMCA
 13:45～ キーノート・セッション
 15:20～ パネルディスカッション
 17:30～ 懇親会（会費1500円）
 （巻末のチラシ2をご覧ください。）

4月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド（4月）	
在席者	14名	第1例会	6名	当月・切手		ニコBOXノート		
例会出席者	11名	第2例会	11名	当月・現金		感謝ファンド		
当月出席率	79%	その他	14名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会レポート



日時 2015年4月11日(土)～12日(日)

場所 東日本大震災被災地

出席(敬称略)

グランパスクラブ：阿部、遠藤、高田(+妹)、早川、松原(+妹)

京都東稜クラブ：大槻(+妹)、佐川、菱田、三科、川島

名古屋クラブ：渡辺、東海クラブ：鈴木

一般参加(会友)：柴田勝義

現地同行者：もりおかクラブ：井上、三上

仙台青葉城クラブ：加藤

仙田YMCA：斎藤(ドライバー)



第3回東日本大震災被災地視察！

阿部一雄

今回で3回目となる東日本大震災被災地の視察に4月11日(土)～12日(日)行ってきました。

復興の様子を見るだけでなく、現地でお金を使うことも復興の一助になるとお聞きし、毎年名古屋グランパスワイズメンズクラブで訪問をしています。今回はDBCの東稜クラブ、名古屋クラブ、東海クラブ、柴田会友らも参加してくれました。

名古屋空港から花巻空港へ行き、昨年訪れた陸前高田市を訪れました。近くの山を切り崩してベルトコンベアで土を運んでいました。12メートルほど盛り土をした工事が、だいぶ進んでいる様子を見て取れました。陸前高田市役所に移動し、担当の方から復興状況の説明をお聞きしました。復興が進んだ

部分と、なかなか上手く進まない部分など、報道ではお聞きできない様子を知ることができました。

その後釜石などを経て大槌町訪役場を訪れました。

「語りべ」の方からお話をお聞きして当時の様子を伺いました。ここでも多くの住民や職員が流され、命を落としました。今も流された鉄橋が横たわり、鉄道が不通です。



1日目は宮古市の国民休暇村宿泊施設に宿泊しました。仙台YMCA 斉藤さん、もりおかワイズの井上さん、三上さん、仙台青葉城クラブ加藤さんらと懇親を行い、情報交換を行いました。翌日は天気も良くなり、世界一と称された田老地区にある防潮堤を視察しました。ご覧の建物に明治と昭和、今回の地震による津波高さが記されていました。17メートルを超える津波では、なすすべもなかったことがよくわかりました。



この後、1ヵ月前にようやく全線開通した南三陸鉄道に田老駅から久慈駅まで乗車しました。途中「あまちゃん」で撮影に使った駅や浜の前でわざわざ停止してくれ、運転士の方が解説をしてくれました。列車はゆっくりでしたが、確実に復興が進んでいるのが車窓から見える風景から分かりました。久慈駅で密かに期待していた「うに弁当」既に、売り切れでした～(苦笑)この後、花巻空港に戻り名古屋へと帰ってきました。

2日間本当に濃い内容の視察でした。東北においても都市部と地方では復興の進み具合に差がありま

した。また、昨年よりそこで暮らす方々の表情が明るく感じました。

私たちが見てきた東北の様子を伝え、これからも支援を続けていきたいと感じた2日間でした。協力して頂いた方々に感謝します。



早川政人

4月11日天気は余り良く有りません。京都東陵クラブメンバーと合流し名古屋小牧空港より花巻空港へ。仙台YMCAのバスで陸前高田市の市庁舎へ伺い、復興の経過を職員の方から伺いました。突然の訪問にも丁寧に対処をしていただきました。奇跡の一本松もかさ上げにより遠くから見て、昼食後大槻町で震災の語り部ガイドの震災の状況など、生々しい現実が今も続いています。皆さん前向きに少しずつ踏み出されています。今後もまだ時間がかかるとは思いますが1日も早い復興で笑顔になれる日を待っています。

宿泊は宮古休暇村です。ゲストの渡辺ワイズ・鈴木ワイズ・柴田君・東陵クラブ諸兄とよく食べ・飲み又いっそうの繋がりが深くなりました。

12日は晴天に恵まれ一気に夏を感じさせ行楽日和です。朝食後まず浄土ヶ浜へ。港はまだ震災の傷跡が残っていますが、海も晴天のせいかわかる感じられました。田老町から三陸鉄道に乗り久慈へ。アマちゃんのロケ地を車上から見て、ここでロケが行われたと少しミーハーになりました。三陸鉄道に1時間ほど揺られて久慈に着きました。少し車中での騒がしかったと反省をしています。乗客の皆さんには済みませんでした。



久慈に着き昼食後一路花巻空港に。空港で夕食をとり小牧空港へ、京都から参加の東陵クラブの皆さんとは小牧で別れましたが11日の早朝から本当にご苦労様でした。尚、青葉城クラブの加藤ワイズには本当に有り難うございました。



東北ツアーに参加させていただいて、

初岩手の旅！

京都東陵クラブ 三科仁昭

早朝から、半分アルコールが残った旅立ちに、ドライバーの●●さんもうなずく。小牧にて、名古屋の皆さまと合流して、花巻空港まで、そこでは加藤様、井上様らが温かいお出迎え、すぐに陸前高田へ。テレビでよくみる一本松に感慨もひとしおながら、遠くからの見学となり、残念でした。あれから、4年の歳月がながれても、復興にはまだまだの様子。不自然（私個人見解）に盛り土されて広がるスペース。そこには、先々人が住めるように固められ同じような災害が起きても人々が災害に合わない工夫ということなのでしょう。そこには、いろいろな思いが働いているので、私ごときに意見はありません（笑）



大槻町旧役場前にて、語り部さんのお話を聞き、多くの方がここで亡くなった事。津波だけではなく火事での被害や、地震後に着るもの貴重品をとり、戻らなかった事に心を痛める思いでした。時は、記憶を風化させて、自分の体験のみで安全だと過信してしまい、それがいろんな油断を生んでしまうのだ

と改めて感じられる思いでした。

翌日は、宮古の浄土ヶ浜や、たろう区を回り、津波の高さに改めて心が震える思いでした。その後、被害が大きく昨年開通した三陸鉄道で久慈へ。初めての岩手で、三陸海岸！とてもきれいです。景色はとてもいいので、是非多くの方が訪れてもらい、地元へ貢献してもらえればいいなと思いました。

三陸鉄道での地元女子高生？の会話は、ここが関西なのか東北なのかわからないくらいでした。少し、東北訛りらしさがあるくらいで。テレビの影響なのでしょうね！ 来年は、福島ですか？ 楽しみにしております。今回、参加させていただけた事に感謝いたします。



最高に楽しめたツアー

名古屋東海クラブ 鈴木一弘

バスが峠を越え、長い坂を下りだす。仮設住宅が見え出すと、海が近くなったことを知る。この町の被災の状況は、復興の様子はどののだろうか・・・

名古屋グランパス主催の東北応援ツアーでは多くのことを学び、素晴らしいワイズメンとの出会いを持ってました。参加の機会を与えてくださったことに改めて深く感謝を申し上げます。

陸前高田市では区画整理事業の難しさを市役所職員から、大槌町では、震災語り部の方から三日三晩燃え続けた火災の話聞く機会を得た。幾つかの町を訪れながら、例えば大きな火力発電所に驚嘆した大船戸、製鉄の街であった釜石など、基盤産業がある町は復興の流れが比較的早く、漁業や観光に頼る町では、その度合いが遅いことに気づく。

また、宮城県沿岸部では、学校など人々の思い出が残る場所を除き、津波の爪痕が残る建物はほぼ撤去されている。それに対して岩手県沿岸部は、観光資源として保存する傾向が強いのではないかと。でも、それは心理的にかなり辛いことでもないだろうか。

東北＝辺境との考えに異議を唱えた赤坂憲雄氏（民俗学）は、東北を考えることは、「一つの日本」（という強迫観念）から「いくつもの日本」を見出すこと（『東北学3 東北ルネサンス』1998年）という。

復興の理想の形は一つではないし、方法も道程も一つでないのだろうか・・・だからこそ、グランパス

のツアーは正しい！（何を急に・笑）私たちができることの一つは、それぞれの東北に柔軟に接し続けること、美しい景色（姉ヶ崎の雄大さ！）、美味しい食べ物（初日の昼食の魚は格別！）と移動（北リアス線からの車窓！）を楽しみながら、そこにいる人々の決断にさりげなく寄り添うこと。

来年の福島ツアーが今から楽しみです。



東北被災地訪問ツアーに参加

高田 士嗣

今回の被災地訪問ツアーはグランパス6名 東陵6名 名古屋クラブ1名 東海クラブ1名、グランパス会友1名、グランパス連絡主事1名の計16名の大所帯になりました。（仙台YMCAバスの補助席も利用）吉田一誠さんと吉田メネット、阿部メネットの3人が急きょツアーを中止され残念でした。

皆さん、東北被災地訪問ご参加有難うございました。震災から5年目となりインフラの復旧は進んでいました。（私自身3回目の訪問でそのことを肌で感じました）しかし、初めて訪問された方は語り部のお話や震災遺構が残っていなければ今の景色が以前のそのものと勘違いされると思いました。語り部ガイドさんのお話や新聞にもありましたが、仮設住宅ではプライバシー問題で悩み、抽選でやっと入居できた復興住宅は顔見知りが少ない孤独感など心の回復はまだまだ先のようです。

インフラも陸前高田市の10数メートルのかさ上げ工事を見ても、住民の希望なのか本当に必要な物なのかどのように決定されたのか、そこに生活している住民と行政との溝を感じました。また地方地域はそのインフラさえかなり遅れており取り残されているように見えました。「頑張ってください」「頑張っていますね」と声をかけるのは独り善がりに思えてしまいました。

地方地域を含め東北全体のインフラ、住宅環境のハード面の改善及び住民の心のケア等、一日も早い本当の復興をお祈りします。

ツアー内容は皆さんの写真を楽しんでください。個人的には三陸鉄道北リアス線の田老駅から久慈駅乗車が良い思い出になりました。（駅の名前がアイヌ語で難解）また他のクラブの個性ある人柄に触れ

ることが出来たことも大変有意義なツアーでした。最後になりますが もりおかクラブの井上ワイズ、三上ワイズ。仙台青葉城クラブの加藤ワイズ。仙台YMCAの齊藤様。貴重な体験と時間を頂き本当に有難うございました。急ぎよの陸前高田市表敬訪問の手配、われわれの質問に回答くださる知識、我々への気配り等、ツアーとは別にたくさんの事を勉強させて頂きました。



第二例会レポート

日時：2015年4月21日(火)
場所：南山YMCA 19:00～
出席：阿部、荒川、遠藤、下村、高田、早川、服部、坂野、松原、三井、吉田

議事

- 4月25日(土)26日(日)中部評議会、EMC200推進委員会、メネット会(金沢彩の庭ホテル)の参加確認をした。荒川(メネット)、早川、松原
- 5月3日(日)4日(月)日和田リートの宿泊は日和田高原ロッジ8名用¥22,500確保した。荒川(メネット)、三井、服部、松原(メネット)、高田? 6名～7名参加。40名分の食材を高田・荒川で買い出しする。
- 5月30日(土) 5月第1例会、講師：山田和正氏「三英傑と清州越し」名古屋 YMCA5F 13:30～15:00 ドライバー早川君。会場MAX40名 チラシの内容はOKだが一般の方の問合せ先を名古屋YMCA担当者とする。チラシを掲示板に貼る・名古屋青年・facebookを活用。
- 6月13日(土)14日(日)西日本区大会参加確認をした。荒川(メネット)、吉田(メネット)、早川、下村、服部、松原。クラブファンド販売コーナー設置確保。但し前回ルートのもと商品を考え直す。
- 9月26日(土)中部部会開催への進捗状況収容人数最大100名と講演料20万のためビュフェスタイルで¥12,000/1名の予算となる見込み。
- 各担当よりの報告・反省
11月合同例会の西日本区への報告は未だです。
かみさわ保育園のクラシックコンサートは1から

作り上げた地域奉仕。(今後バザー・夏祭り等企画提案)。遠藤君よりフィリピンキャンプについてリーダーの成長が見受けられたとの報告。

7. 9月19日(土)～22日(火)全国リーダー研修会 日和田高原ロッジGW後8名用ロッジ2棟予約する。
8. 5月16日(土)名古屋YMCA 夢・希望・フォーラム開催 参加：荒川、遠藤、早川、服部、吉田、三井?、松原(17:30～)
9. その他：
 - (1)4月29日(水)根の上まつり
 - (2)5月19日(火)第2例会に変更。
 - (3)6月6日(土)7日(日)東日本区大会
 - (4)6月6日(土)第1例会 ドライバー三井君
 - (5)6月27日(土)中部評議会(第4回及び第1回)、
 - (6)7月4日(土)5日(日)一泊例会根(羽・ひまわりの湯)
 - (7)7月31日(金)～8月2日(日)アジア大会
 - (8)ブリテン原稿：第1例会：阿部、第2例会：松原、メネット会：荒川、根ノ上：好伽、中部評議会：松原

第1回 準備役員会



日時 2015年4月11日(土) 12日(日)
場所 ホテルクライトン新大阪
出席 荒川(次期中部部長)

荒川恭次

東日本大震災被災地訪問東北ツアーと時を同じくして、大阪では西日本区次期準備役員会が開催されました。故成瀬理事期では事務局員として経験していますが、役員当事者としての参加は緊張で身が引き締まりました。同会場別室では第3回役員会も同時開催されており、現・次期と会議をラップさせながらの進行で、事務局員当時の忙しさが思い出されました。次期への準備も時間が迫っています。キャビネットおよびクラブメンバーの皆様のご協力ご支援よろしくお願いいたします。

第3回中部評議会&合同メネット会

日時 2015年4月25日(土) 26日(日)
場所 金沢彩の庭ホテル&石亭
出席 荒川(+メ)、早川(主査)、松原(会長)



松原行謙

4月25日(土)うらかな春の日差しを浴びて荒川号にて荒川さん、恒子さん、早川さん、私とで一路東海北陸道を北上し金沢に向かいました。途中ひるがの高原SAでは残雪の大日岳が印象的でした。思いのほか早く金沢につき回転寿司で有名な金沢まいもん寿司で、生ほたるいか、しらえびのサラダ、かわはぎ、能登イカなどお腹いっぱい金沢の味を堪能しました。今年3月オープンのとて素敵な金沢彩の庭ホテルにて中部のワイズメンズクラブの多くの諸問題や未来について熱く議論がなされました。中部評議会と中部 EMC200 推進委員会の詳しい内容については別に送ります議事録をよく読んでいただければと思います。早川さんと私は金沢のお土産をすっかり買い込み高速バスにて名古屋にその日のうちにUターンしてきました。金沢にての評議会も中々良いものであると実感しました。



荒川恭次

金沢の地において「第3回中部評議会」「中部EMC200推進委員会」「合同メネット会」が開催されました。当日は絶好の好天に恵まれ、新緑の候、新幹線開通に湧く金沢というベストロケーションとあって何か期待されるものがありました。

評議会では2つの議案が活発な議論の中審議され、各事業主査からは事業活動報告がされました。詳細は部長通信をご参照。またEMC200推進委員会では3つの議案が活発に話し合われ充実した時間が経過しました。

固い会議の後は、優雅なメネット会です。クラブからのメネット参加が少なかったのが残念ですが、代表して楽しむことができました。

「和菓子(上生菓子)を作ろう」では、和菓子職

人さんのご指導のもと、用意していただいた材料&道具で美味しい金沢の和菓子を、ど素人の私でも作



ることができました。お土産に手作りの「懐紙入れ」をいただき、その作りの良さに感激しました。

そして懇親

会は「老舗料亭“石亭”」で加賀料理をいただきながら催されました。金沢は仕事・プライベートと何度も訪れていますが、こうした料亭での会食は初めてでした。そして宿泊は、会議会場にもなった金沢彩の庭ホテルです。新幹線開通に合わせて開業した新品のホテルで、地域の環境に溶け込んだ地味な外観ながら、中に入ればそこかしこに手の込んだ仕事にしてある女性好みのおしゃれな宿でした。



神沢保育園一周年記念コンサート



日時 2015年4月4日(土)
場所 名古屋YMCA神沢保育園
出席 荒川、下村、高田、服部、早川、三井、吉田

かみさわ保育園クラシックコンサート準備

下村明子

「さて、看板を作ってしまうか。」
開催2日前、看板のコピーをしようとしたら、特殊な用紙サイズのためコピー機がうまく作動しません。メーカーに電話をして設定を試みるがうまくいきません。「どうしよう!」。メーカーが翌日対応してくれるとのことでこの日は帰宅。翌日晩に看板はめでたく完成しましたが、さらにもうひとつびっくりすることが。このコンサートの仕掛け人である吉田一

誠さんがインフルエンザでダウン！そして迎えた当日はまた驚くことが。人が集まるかどうかの心配をよそに、約60名の方が会場に足を運んでくださったのです！

私は今回準備のみの参加でしたが、ハラハラドキドキ体験の2日間でした(笑)



他クラブ訪問記



下村明子

4月5日の日曜日に京都へ出かけ、京都めいぶるクラブの「西陣会さくら祭り」と京都トップスクラブの「20周年例会」に参加しました。

「西陣会」とはめいぶるクラブが継続的に支援を行なっている社会福祉法人で、毎年船岡山公園（桜がきれい）で行われるこのお祭りで焼きそば屋台を出店しています。桜を見ながらのワークにつられて参加したものの当日は強い雨、会場が西陣会の児童

館ピロティに変更になりました。朝10時から準備に取り掛かり11時から販売開始をした200食のなみえ焼きそばは完売。買いに来る方の多くがクラブメンバーと親しく会話をしていたところから、この支援が毎年利用者の楽しみになっているのだなと感じました。

午後からは京都トップスクラブの「20周年例会」に参加するために東山のウエスティン都ホテルへ移動、会場近くの南禅寺周辺は傘をさしながらの花見客が多く見られました。この例会は入会5年未満のメンバーが委員会を発足して開催されたとのこと。（メンバー数57名のうち入会5年未満のメンバー割合は67%、平均年齢46歳の勢いのあるクラブです。）「ありがとう」をテーマに開催された例会は、クラブ設立時のチャーターメンバーが一人ずつ壇上で「ありがとう」を伝えたいワイズメンを指名し、自らがセレクトしたプレゼントをお渡しする場面あり、参加者へ「ありがとう」を伝えるため、例会の様子を撮影した映像を即編集し、例会の終わりにダイジェスト版としてスクリーンに映し出す場面もありました。その中には例会で楽しんでいる私の顔もありましたが、私たちが楽しんでいる会場の裏で、若手メンバーのサポートのため、ひたすら裏方に徹しているベテランメンバーの姿がありました。あるベテランメンバーの方は例会の間に若手の成長が嬉しくて何度も涙を流したそうです。

二つのクラブを訪問し、地域奉仕、EMC、交流事業について一気にびっちり学び考えさせられる機会を与えられたと感じました。

根の上まつり



日時 2015年4月29日（祝水）
場所 名古屋YMCA根の上キャンプ場
出席 坂口、信田、高田、松原

2015年 春の根の上まつりに参加して

松原好伽

名古屋で夏が続いている昨今ですが、お天気が良いのか、気分も上げ上げです。松原家からはメン・メネット・義母の3人参加です。車のハンドルを握るのもウキウキなのは、元リーダーと一緒に経験した加代ちゃんと千佳ちゃんに会えることでした。功

祐兄に頼まれた買い物をして10時ちょうどに根ノ上に着くと、すでに2人はエプロン姿で調理場で手伝ってくれていました。



わいわいがやがや、みんなリーダー時代に戻ったように楽しかったです。料理のメニューはローストビーフのサラダドレッシングがピリ辛で美味しかったです。功祐兄の餌食になったサバを網で焼いた塩焼きは最高です。もちろん肉・鳥の首肉・テンダロイン・ソーセージ・焼きそば・お味噌汁・タケノコご飯、信田兄が持参してくれたしらすをかけていただきました。思い出しただけでもよだれが出てきます。そのあとギターのおじさま4人の演奏に合わせてキャンプソングを合唱。またまたリーダー時代を彷彿させていただきました。

最後のメは 泉万自信作のイチゴぜんざいは美味しかったです。今回は完食させていただきました。作る側も気持ち良かったです。

根ノ上はやはり名古屋より涼しかったです。秋の根ノ上祭りが10月12日体育の日に行われます。皆様もこぞって参加してくださいね。カルテットの演奏もスキルアップしていることでしょう。

YMCAだより

遠藤恵美子

6月の1週目には、YMCAの国際協力週間が始まります。国際協力募金も今年を行う予定となっております。

国際協力週間の期間中に、YMCAのプログラムに来ている子どもたちには、支援をする国のこと、状況、みんなの募金がどんなことに使われるのかを伝えていきます。今回の募金は2月にフィリピンワークキャンプを行ったフィリピンのタンバリザ地域の青年を大学へ行けるように募金を使わせていただきたいと考えています。

今のフィリピンの大きな社会問題として、貧困の格差が無くならないことが問題となっているようです。働かなければいけなくて学校に行けず、親の職業が子どもの商業になるという状況です。また、自分が家族を持ったときにその子どもが大学に行けるようなお金がない・・・という状況から抜け出すために、大学へ行く金銭的な支援を行い、貧困の連鎖から抜け出すようになってほしいという願いがあり

ます。また、学べる選択肢が増えることで、夢が広がっていく子どもたちも増えていってほしいと思います。この国際協力週間で、名古屋の子どもたちには、フィリピンが『外国』という捉え方だけでなく、『自分が募金をした国』『YMCAの募金で大学に行けたかな〜』と、「フィリピン」と聞いたときに、ひとつ思ってくれることがあればと思います。顔も見ることがないけれど、そこに住んでいる人につながりがあること、つながりがあると思っていると、大切に感じるができること、そのきっかけが国際協力週間で作っていきたいと思います。

その他

1. 今月の誕生日

happy birthday

高田 士嗣 (3日)

佐藤 恵子 (21日)

congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏名	4 / 11 12 第一例会	4 / 21 第二例会	4 / 4 神沢コンサート	4 / 25 26 評議会ネット	4 / 29 根の上	4 / 11 12 準備役員会
1	阿部 一雄	○	○				
2	荒川 恭次		○	○	○		○
3	坂口 功祐					○	
4	佐藤 壽晃						
5	信田伊知郎					○	
6	下村 明子		○	○			
7	高田 士嗣	○	○	○		○	
8	服部 庄三		○	○			
9	早川 政人	○	○	○	○		
10	坂野 清治		○				
11	松原 誠	○	○		○	○	
12	三井 秀和		○	○			
13	吉田 一誠		○	○			
14	遠藤恵美子	○	○				
	計	5	11	7	3	4	1



名古屋グランパスワイズメンズクラブ

5月第一例会のお誘い

卓話「三英傑と清洲越し」



とき 5月30日(土) 13:30~15:00

ところ 名古屋YMCA5階

講師 山田 和正氏 (名古屋歴史まちづくり市民推進員)

「清洲越し」を題材に、日本人にとって清洲とは何か？
この中で、この地域のキリスト教の歴史にも踏み込みます。



【山田 和正氏 プロフィール】

同志社大学大学院工学研究科修士課程工業化学専攻修了(工学修士号取得)、広島大学大学院医学系研究科博士課程病理系専攻修了(医学博士号取得)。民間企業にて製造部長・開発部長・経営企画室長として十数年の勤務後、愛知県の委嘱を受け事業化コーディネーター等を経験。昨年までは名古屋大学エコトピア科学研究所融合プロジェクト研究部門の研究機関研究員、脳とこころの研究センターのフェローとして研究開発に従事し、現在は、国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター 開発・連携推進部のプロジェクトマネージャーとして勤務。「ひとにやさしい街づくりアドバイザー」(愛知県)及び「名古屋歴史まちづくり市民推進員(なごや歴まちサポーター)」「(名古屋市)として登録。平成25年度市民研究報告「那古野まち歩き新発見」オブザーバー(名古屋都市センター)として活動。



参加費無料

どなたでもご参加いただけます。

お申込みはお電話またはメールにて名古屋YMCAまで
または、お近くのクラブメンバーまでお声掛けください。

公益財団法人名古屋YMCA

〒464-0848 名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
(旧丸八証券池下別館ビルにリニューアルオープン)

TEL (052)757-3331

info@nagoyaymca.org



【ワイズメンズクラブとは】

ワイズメンズクラブは1922年に Paul William Alexander 氏によって米国オハイオ州で誕生して以来、世界各国で数々の奉仕活動を展開してきました。日本では1932年6月に日本区が設立され、80年の歴史を誇っています。

現在、世界では1,452クラブ27,474名の会員が(2013年08月現在) YMCAを中心とした様々な事業に積極的に支援、協力しています。



DREAM

明日を共に創る



HOPE

名古屋YMCA 夢・希望 フォーラム2015

キーノート・セッション (13:45~)

講演：『BEYOND~越えてゆこう、出会うために~』



講師：中道 基夫（なかもち もとお）
関西学院大学教授、日本 YMCA 同盟中計
画策定委員会委員長、神戸 YMCA 理事長
プロフィール：1960年生まれ。関西学院大学にて
実践神学を研究。YMCA には、34年前に学生 YMCA
を通して出会った。その後、神戸 YMCA 国際協力委員
などを歴任され、現在は、日本 YMCA 同盟中期計画策
定委員会委員長として、全国の YMCA とともに YMCA
ブランドの再生に取り組んでいる。



BEYOND

~越えてゆこう、出会うために~

日本YMCA同盟中期計画がスタートしました。
「YMCAブランドの再生」をテーマに、
オールジャパンYMCAとして革新しようと呼びかけています。
もっと多くの人のよりどころ、成長の場に、
もっと社会に希望と変革を、YMCAにはその力と可能性があります。
YMCA誕生から170年にわたって受け継ぎ、培っている「宝」。
この「宝」の価値を磨き、輝きを増し、広く照らすことが求められています。
課題、限界を「越えた」(BEYOND)その先のYMCAへ。
私たちが本当に必要としている人、支えてくれる人、
担いたいという人たちと出会うために。

パネルディスカッション (15:20~)

新生名古屋 YMCA の明日を共に創る。明日を担う

若者からの提言、夢、希望!

年齢も経験も違う、けれども同じ YMCA を想う気持ち
を持った4人のパネリストを向かえ、明日の名古屋
YMCA について熱く議論します。

司会・進行 橋爪良和

懇親会 (17:30~)

みんなで火を囲み、バーベキューを楽しみたいとおも
います。みんなで食事を共にし、YMCA について語る
時としてください。

差し入れ大歓迎! 楽器の持参も大歓迎です。

日程

2015年 5月16日(土)

時間

13:30~17:00

懇親会は17:30~19:00になります

会場

南山ファミリーYMCA

参加費

無料

懇親会の参加費は、1500円。学生は無料。

お問い合わせ

名古屋YMCA

☎052-757-3331

✉info@nagoyaymca.org

HP <http://www.ngoymca.com/>

会場案内

住 所：名古屋市昭和区南山町14

T E L：052-831-6968

最寄り駅：地下鉄鶴舞線 いりなか駅

徒歩10分

駐 車 場：あり

